

子ども健康科学会

(子どもの心・体と環境を考える会)

Japanese Society of Health Science for Children

第13回学術大会

《 子どもたちの幸せを考えよう 》

会長 松崎 くみ子

(跡見学園女子大学文学部臨床心理学科)

会期 平成23年12月17日(土)13:00~18:00

12月18日(日) 9:00~17:00

会場 跡見学園女子大学 文京キャンパス

住所:〒112-8687 東京都文京区大塚 1-5-2

最寄駅:東京メトロ丸の内線 茗荷谷駅下車 徒歩2分

後援 厚生労働省 文部科学省 東京都 新座市教育委員会 (申請中も含む)

日本子ども健康科学会

<http://www.jshsc.jp/>

ごあいさつ

この度、第13回日本子ども健康科学学会学術大会を跡見学園女子大学におきまして、開催させていただくことになりました。開催にあたりまして、多くの皆様のお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。

2011年は、自然の猛威に慄き、科学技術への過信を思い知らされ、人と人との絆の大切さをかみしめた一年でした。人間の至らなさ、愚かさを再度見つめながらも、何かできることはないだろうかと模索した一年でもありました。

そのような状況のなかで、子どもたちの過酷な状況は続いています。経済的な問題、家族の不和、学校での難しい人間関係、将来への不安・・・すべての子どもたちではありませんが、子どもたち自身の責任ではないところで、大きな苦難を抱えています。辛いこと、苦しいこと、困難などが、人を鍛え、強くしていく・・・一理あります。けれども、乗り越えられないほどの困難からは、子どもたちを守り、生きる喜び、愉しさ、を感じられるようにすることが、大人の努めだと思えます。そのために、私たちでできることは何か？を多くの皆様と考えたいと思い、「子どもたちの幸せを考えよう」というテーマにさせていただきました。

基調講演として「子どもの幸せを考える」と題して松本真理子先生（名古屋大学）から、教育講演として「関係ネットワークへの統合的アプローチ」と題して中釜洋子先生（東京大学大学院）からお話を伺います。日本の子どもたちの幸せはどのような状況にあるのか、周りの大人が子どもたちのために力を合わせるにはどのような工夫をしたらいいのか、などについて、みなさんで考えたいと思います。

教育セミナーは、跡見学園女子大学文学部臨床学科の、お二人の教授にお願いしました。鶴光代先生からは「子どもの健康に活かす動作法」、中野敬子先生からは「家族認知行動療法」を伺います。子どもたちとそこご家族を支援する工夫を身につけられたらと思います。

シンポジウムでは、子どもたちの様々な困難、つまずきに、気づき、支援するヒントを、そしてQOL尺度の活用について、考えたいと思います。

不慣れで、手作りの学会ですが、本大会に多くの皆様にお集まりいただき、それぞれの知識、工夫、抱えている困難を分け合い、明日の実践にご活用いただけたら幸いです。

子どもたちとそこご家族の笑顔のために・・・

2011年12月吉日
第13回日本子ども健康科学学会学術大会 会長
松寄くみ子
(跡見学園女子大学文学部臨床心理学科)

第 13 回学術大会ならびに総会開催要項

I. 第 13 回学術大会

会期 平成 23 年 12 月 17 日(土) 13:00~18:00

平成 23 年 12 月 18 日(日) 9:00~17:00

会場 跡見学園女子大学 文京キャンパス 2 号館

住所:〒112-8687 東京都文京区大塚 1-5-2

II. 懇親会

平成 23 年 12 月 17 日(土)18:00~19:30

会場 文京キャンパス 2 号館 9 階 多目的ホール

III. 理事会

平成 23 年 12 月 18(日)12:00~13:00

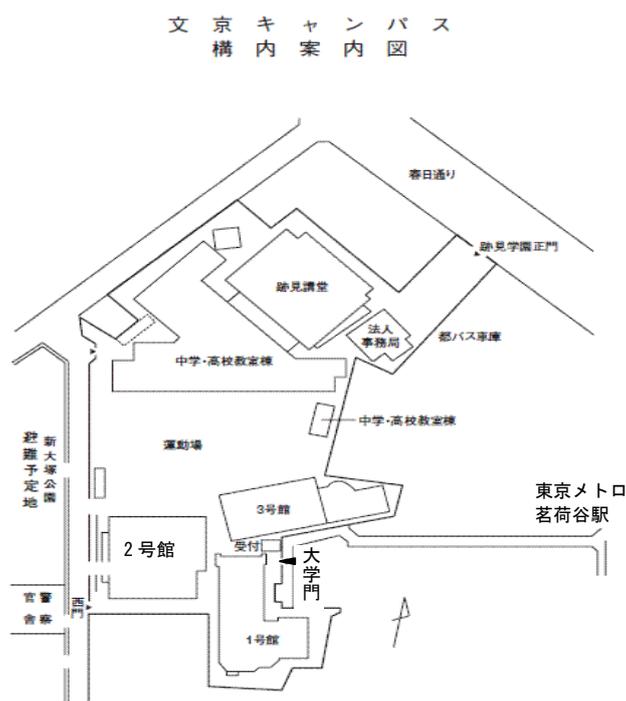
会場 文京キャンパス 2 号館 3 階 M2306

IV. 総会

平成 23 年 12 月 18 日(日)13:00~13:30

会場 文京キャンパス 2 号館 1 階 ブロッサムホール

V. 交通のご案内



・東京メトロ 丸ノ内線茗荷谷駅から徒歩 2 分です。

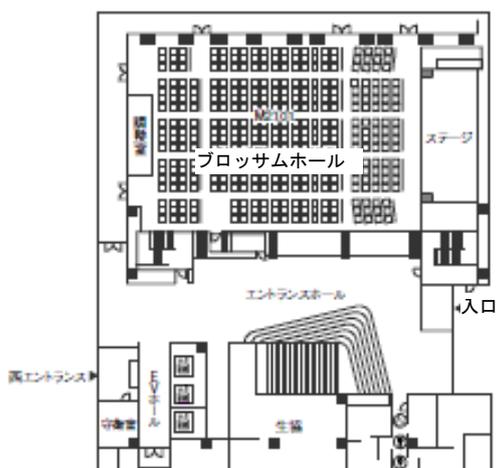
・東京メトロ 有楽町線護国寺駅から徒歩 8 分です。

「茗荷谷駅の春日通り方面改札口」を出たら、左手にお進みください。すぐに書店が見えてきます。書店の前を右折し、突き当たりまで進むと、文京キャンパスの門があります。「大学門」からお入りください。

VI. 会場のご案内

文京キャンパス 2号館

1 階



1 階

- プロッサムホール
 - ・ 基調講演
 - ・ 教育講演
 - ・ シンポジウム I
 - ・ シンポジウム II
 - ・ 総会

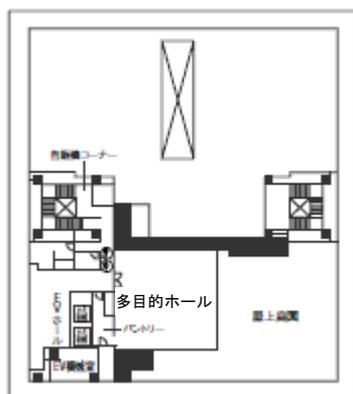
3 階



3 階

- M 2 3 0 4
 - ・ 教育セミナー I
 - ・ 教育セミナー II
- M 2 3 0 1
 - ・ ポスター発表 (A, B, C)
- M 2 3 0 2
 - ・ ポスター発表 (D, E)
- M 2 3 0 6
 - ・ 理事会
- M 2 3 0 8
 - ・ 大会本部

9 階



9 階

- 多目的ホール
 - ・ 懇親会

日程表

	12月17日(土)	12月18日(日)
8:30		受付 1階ロビー
9:00		一般演題 (3階 M2301,M2302)
11:00		教育セミナーⅡ(3階 M2304) 「子どもの健康に活かす動作法」 鶴 光代
12:00		受付 1階ロビー
12:55	開会ごあいさつ (3階 M2304)	昼休み 理事会(3階 M2306)
13:00	教育セミナーⅠ(3階 M2304) 「家族認知行動療法」 中野 敬子	総会(ブロッサムホール)
13:30		基調講演(ブロッサムホール) 「子どもの幸せを考える -フィンランドと日本の子どもたち-」 松本 真理子
14:00	教育講演(ブロッサムホール) 「関係ネットワークへの 統合的アプローチ」 中釜 洋子	
14:30		
15:00	シンポジウムⅠ (ブロッサムホール) 「子どもの困難に気づくこと、 具体的に対応すること」	シンポジウムⅡ (ブロッサムホール) 「子どものQOL尺度を活用する」
16:45		
17:00		閉会
18:00	懇親会 (9階多目的室)	
20:00		

参加者へのご案内

★ 参加受付

① 受付

- ・ 受付場所は、文京キャンパス 2 号館 1 階ロビーです。
- ・ 受付時間は以下のとおりです。

12 月 17 日(土):12 時 00 分～16:00

12 月 18 日(日): 8 時 30 分～15:00

② 参加費

- ・ ご参加の方は、当日に受付で参加費をお支払い下さい。

会員 4000 円

非会員 5000 円

学生(学生証ご持参下さい) 1000 円

- ・ 参加証(領収証兼用)に、氏名、所属をご記入の上、学会期間中は常にお付け下さい。

② 懇親会参加受付

- ・ 懇親会参加希望の方は、17 日(土)受付時に参加費 2000 円を添えてお申し込みください。

③ 年会費・入会手続き

- ・ 年会費のお支払いや、入会手続きは、当日に受付にて承ります。
- ・ 年会費は、正会員 5000 円、学生会員 4000 円となっております。

★ クローク

- ・ クロークは特に設置いたしません。お荷物は、ご自身でお持ちくださいますようお願いいたします。特にご希望の場合は、大会本部 M2308 までご相談ください。

★ 昼食・休憩

- ・ 会場周辺、茗荷谷駅近辺には、昼食のための飲食店および店舗は、沢山あります。
- ・ 会場のブロッサムホールでは、飲食は出来ませんので、2 号館 3 階ロビー、1 号館 1 階つきあたりの学生食堂(営業はしていません)をご利用下さい。
- ・ 飲み物の自動販売機は、1 号館 1 階学生食堂内、2 号館 1 階生協前、2 号館 9 階エレベータ脇にございます。

★ 喫煙

- ・ 会場内は全室禁煙となっております。1 号館 1 階学生食堂外の喫煙場所を利用してください。

★ 懇親会

- ・ 日時 : 12月17日(土) 18:00~19:30
- ・ 場所 : 跡見学園女子大学文京キャンパス 2号館9階 多目的ホール
- ・ 会費 : 2000円
- ・ 参加ご希望の方は、当日、受付にてお申し込み下さい。

★ 書籍・企業展示

- ・ 2号館 3階ロビーにて書籍・企業の展示を行っております。

★ 各種会議・打ち合わせ

- ① 教育セミナーⅠ 打ち合わせ:17日(土) 12:00~13:00 M2301
- ② 教育講演 打ち合わせ:17日(土) 12:00~13:00 M2302
- ③ シンポジウムⅠ 打ち合わせ:17日(土) 12:00~13:00 M2306
- ④ 教育セミナーⅡ 打ち合わせ:18日(日) 10:00~11:00 M2306
- ⑤ 基調講演 打ち合わせ:18日(日) 11:00~12:00 M2308
→M2306
- ⑥ シンポジウムⅡ 打ち合わせ:18日(日) 11:00~12:00 M2306
- ⑦ 理事会 :18日(日) 12:00~13:00 M2306
- ⑧ 総会 :18日(日) 13:00~13:30 ブロッサムホール

★ 駐車場 構内の駐車スペースはほとんどありません。公共交通機関をご利用ください。

★ 大会本部 2号館3階 M2308

緊急連絡用携帯電話 柴田 (090-1885-1532)

発表者へのご案内

★ 基調講演 教育講演 シンポジウム

- ① 基調講演、教育講演、シンポジウムは、2号館1階ブロッサムホールにて行われます。
- ② 会場には、PC、液晶プロジェクターが設置されております。ご講演開始20分前くらいまでに、会場にてプレゼンテーションの動作確認をお願いいたします。使用アプリケーションは、Windows 版 PowerPoint2003 スライドショーです。
- ③ プレゼンテーション原稿を 2011 年 12 月 10 日(土)までに、添付ファイルにて学会事務局あてにお送り下さい。ファイル名には、必ず演者名をお入れください。
(e-mail: imfo@jshsc.jp)
- ④ 発表時間は、講演は50分、シンポジウムはお一人15分を予定しています。

★ 教育セミナー

- ① 教育セミナーは2号館3階 M2304にて行われます。
- ② 会場には PC、液晶プロジェクターが設置されております。ご講演開始20分前くらいまでに、会場にてプレゼンテーションの動作確認をお願いいたします。
- ③ 使用アプリケーションは、Windows 版 PowerPoint2003 スライドショーです。
- ④ プレゼンテーション原稿を 2011 年 12 月 10 日(土)までに、添付ファイルにて学会事務局あてにお送り下さい。ファイル名には、必ず演者名をお入れください。
(e-mail: imfo@jshsc.jp)
- ⑤ 発表時間は、50分を予定しています。

★ 一般演題(ポスター発表)

- ① 発表形式はポスター発表とします。
- ② ポスター会場は2号館3階 M2301と M2302です。
- ③ パネルの大きさは、横 90cm×縦 210cmです。
発表者の方は、18 日(日)9:00 までに、ポスター会場(M2301 M2302)前にて、ポスター受付を済ませてください。発表者リボンと画鋏をお渡しします。
- ⑤ 9:10までに、所定のポスターパネル(ポスターパネルには演題番号と同番号が示されています)にポスターを貼ってください。
- ⑥ パネルの最上部に、発表題目、発表者名、所属を記入した横 65cm、縦 15cmくらいの表題を貼ってください。
- ⑦ 所定の発表セッションでは 座長の進行に従って7分の発表 3分の質疑応答を行ってください。その他の時間帯も、なるべくポスターの前で、質疑に応じて下さい。
- ⑧ ポスターセッション終了後、15:00までにポスターを撤去してください。残された掲示物があった場合は事務局にて撤去させていただきます。

プログラム

12月17日(土)

- 12:00 受付開始 2号館1階ロビー
- 12:55~13:00 開会ごあいさつ 2号館 3階 M2304
大会長 松崎 くみ子 (跡見学園女子大学)
- 13:00~13:50 <教育セミナー I> 2号館 3階 M2304
「家族認知行動療法」
座長 赤澤 晃 (都立小児総合医療センター)
講師 中野 敬子 (跡見学園女子大学)
- 14:00~14:55 <教育講演> 2号館 1階ブロッサムホール
「関係ネットワークへの統合的アプローチ」
座長 中山 健夫 (京都大学大学院)
講演者 中釜 洋子 (東京大学大学院)
- 15:00~17:00 <シンポジウム I> 2号館 1階ブロッサムホール
「子どもの困難に気づくこと、具体的に対応すること」
座長 横田 雅史 (帝京平成大学)
神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)
- ① 食物アレルギーへの対応の工夫
今井 孝成 (独立行政法人国立病院機構相模原病院小児科)
 - ② 運動の苦手な子どもへの対応の工夫
原 英喜 (國學院大學人間開発学部)
 - ③ 学習につまずく子どもへの対応と工夫
篁 倫子 (お茶の水女子大学大学院)
 - ④ 虐待に気づくことと対応の工夫
奥山 眞紀子 (国立成育医療研究センター)
 - ⑤ 子どもの気持ちに気づくことと子どもたちが教えてくれた関わりの工夫
副島 賢和 (品川区立清水台小学校昭和大学病院内さいかち学級)
- 18:00~19:30 懇親会 文京キャンパス 2号館 9階多目的ホール

12月18日(日)

8:30 受付開始 2号館 1階ロビー

9:15~10:50 <一般演題>ポスター発表 2号館 3階 M2301 M2302

第1会場 M2301 9:15~10:50

ポスターA 9:15~9:50

座長 吾郷 晋浩 (吉備国際大学大学院)

I-A-1 子どもは自分の問題をいかに物語るのか

—母親同室の心理療法の初回面接における玩具の使用から—

○吉沢 伸一 (ファミリーメンタルクリニックまつたに)

I-A-2 応用行動分析による発達障害児への支援について

○岩澤 直子 (NPO 法人相談と教育支援室<COES ルーム>)

宮岡 佳子 (跡見学園女子大学文学部)

I-A-3 昭和大学病院 小児医療センター 保育士の活動報告

○上林 史代 (昭和大学病院小児医療センター)

小森 琴世 (昭和大学病院小児医療センター)

河原 麻琴 (昭和大学病院小児医療センター)

ポスターB 9:50~10:15

座長 近喰 ふじ子 (東京家政大学)

I-B-1 被養育体験、アレキシサイミア傾向が青年期の自傷行為に与える影響
について

○星 真理子 (跡見学園女子大学大学院人文科学研究科)

宮岡 佳子 (跡見学園女子大学文学部)

I-B-2 共依存、抑うつにおける過去の養育体験の関連

○小崎 由香里 (新座市市役所 教育委員会)

ポスターC 10:15~10:50

座長 津田 彰 (久留米大学)

I-C-1 対人関係場面における子どものレジリエンス

—幼児における自己調整の発達—

○平井 美佳 (東京女学館大学)

I-C-2 母子の認知差と子どもの自尊感情 —臨床例からの検討—

○曾根 美恵 (青山心理発達相談室、青山学院大学)

田島 信元 (白百合女子大学)

I-C-3 子どものQOLに関連する母親のアイデンティティ

○浅見 侑子 (聖心女子大学大学院文学研究科)

柴田 玲子（聖心女子大学）

第2会場 M2302 9:15～10:45

ポスターD 9:15～10:05

座長 益子 育代（都立小児総合医療センター）

II-D-1 小学校における“がんの親を持つ児童”への支援についての検討

－教師・養護教諭対象のアンケート調査から－

○神前 裕子（東邦大学周産期人材育成推進室）

小林 真理子（放送大学大学院）

II-D-2 中学校における“がんの親を持つ児童”への支援についての検討

－教師・養護教諭対象のアンケート調査から－

○小林 真理子（放送大学大学院）

神前 裕子（東邦大学周産期人材育成推進室）

II-D-3 学校教育におけるエゴグラムを用いた心の教育プログラムの有効性について

－小学校5年生の保健学習「心の健康」の中での実践から－

○菊地 紀美子（飯田女子短期大学）

川口 毅（人間総合科学大学大学院）

II-D-4 小学校における子どもの自己主張、他者配慮能力について

－学校享受感、家庭からのサポートとの関連－

○小川 洸菜（聖心女子大学大学院文学研究科）

柴田 玲子（聖心女子大学）

ポスターE 10:05～10:45

座長 河野 陽一（千葉大学大学院）

II-E-1 サウンドスペクトログラムによる音刺激を用いた発声トレーニング効果の実証

－7歳難聴男児の事例を用いて－

○福原 安里（青山学院大学大学院 教育人間科学研究科）

古荘 純一（青山学院大学）

田中 大介（昭和大学附属豊洲病院）

松崎 くみ子（跡見学園女子大学）

福原 博篤（昭和大学附属豊洲病院）

II-E-2 イルカとの触れ合い活動 ー生理・心理的变化ー

○本間 亜矢子（昭和大学医学部第2生理学教室）

正岡 ゆり（昭和大学医学部第2生理学教室）

原 英喜（國學院大學）

松崎 くみ子（跡見学園女子大学）

本間 生夫（昭和大学医学部第2生理学教室）

II-E-3 小児気支喘息におけるネブライザーの音響学的特性に関する検討 第2報
—「アレルギー疾患診断・治療ガイドライン 2010」掲載の8機種について—

○田中 大介（昭和大学附属豊洲病院小児科）
福原 博篤（昭和大学附属豊洲病院小児科）
校條 愛子（昭和大学附属豊洲病院小児科）
藤巻 孝一郎（昭和大学附属豊洲病院小児科）
板橋 家頭夫（昭和大学医学部小児科）

11:00～11:50 <教育セミナーⅡ> 2号館3階 M2304

「子どもの健康に活かす動作法」

座長 大矢 幸弘（国立成育医療研究センター）

講師 鶴 光代（跡見学園女子大学）

12:00～12:55 昼休み 理事会 2号館3階 M2306

13:00～13:30 総会 2号館1階 ブロッサムホール

13:30～14:25 <基調講演> 2号館1階 ブロッサムホール

「子どもの幸せを考える—フィンランドと日本の子どもたち—」

座長 長嶋 正實（愛知県済生会病院）

講演者 松本 真理子（名古屋大学）

14:30～16:45 <シンポジウムⅡ> 2号館1階 ブロッサムホール

「子どものQOL尺度を活用する」

座長 田中 大介（昭和大学附属豊洲病院）

柴田 玲子（聖心女子大学）

- ① 小学生版・中学生版 QOL 尺度
柴田 玲子（聖心女子大学）
- ② 幼児版 QOL 尺度
根本 芳子（昭和大学医学部小児科）
- ③ 慢性腎臓病と QOL
伊藤 雄平（久留米大学医療センター）
- ④ 発達の困難さと QOL
田中 大介（鳥取大学）
- ⑤ 不安・抑うつと QOL
古荘 純一（青山学院大学）
- ⑥ メディア接触と QOL
長谷川 真里（横浜市立大学）
- ⑦ 学校現場での活用
岸 達也・宮下 和子（品川区立第二延山小学校）

16:45 閉会

閉会挨拶 松崎 くみ子（跡見学園女子大学）

次期大会長挨拶 神山 潤（東京ベイ・浦安市川医療センターセンター長）

第 13 回日本子ども健康科学会学術大会賛助団体御芳名

後援名義(申請中も含む)

文部科学省、厚生労働省、東京都、新座市教育委員会

広告・出展

株式会社 VIP グローバル

アイクレオ株式会社

エーザイ株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

(株)金剛出版

株式会社三京房

株式会社ジアース教育新社

大日本住友製薬(株)

(株)トーヨー・フィジカル

株式会社ニホン・ミック

ファイザー株式会社

福村出版

ヤサカ産業株式会社

(50 音順 敬称略)

本学術大会開催にあたり、ご協力・ご協賛をいただき大変ありがとうございました。ここに謹んでご芳名を記し、心より御礼申し上げます。

2011 年 12 月 吉日

第 13 回日本子ども健康科学会学術大会

会長 松崎 くみ子

日本子ども健康科学会(子どもの心・体と環境を考える会)学術大会

歴代会長

第1回	飯倉洋治	昭和大学医学部教授	東京都	1999.12.19
第2回	飯倉洋治	昭和大学医学部教授	東京都	2000.12.10
第3回	小林章雄	愛知医科大学医学部教授	愛知県	2001.12.23
第4回	吾郷晋浩	文京学院大学大学院人間学部教授	東京都	2002.11.22-23
第5回	河野陽一	千葉大学大学院医学教授	千葉県	003.12.12-13
第6回	長嶋正實	あいち小児保健総合センターセンター長	愛知県	2004.12.4-5
第7回	奥山真紀子	国立成育医療センターこころの診療部部長	東京都	2005.12.3-4
第8回	近喰ふじ子	東京家政大学文学部心理教育学科教授	東京都	2006.12.16-17
第9回	大矢幸弘	国立成育医療センター第一専門診療部アレルギー科医長	東京都	2007.11.23
第10回	横田雅史	愛知みずほ大学人間科学部教授	愛知県	2008.12.6-7
第11回	津田彰	久留米大学文学部心理学科教授	福岡県	2009.12.12-13
第12回	田中大介	昭和大学医学部准教授	東京都	2011.3.

第 13 回日本子ども健康科学会学術大会準備委員会

会長 松崎くみ子

事務局長 柴田玲子

準備委員 根本芳子 山口豊一 宮崎圭子 森田孝次

表紙イラスト:米田富士子(NPO 法人 アレルギー児を支える全国ネット アラジーポット)

合掌 飯倉洋治先生 小田島安平先生 庄司順一先生

第 13 回日本子ども健康科学会学術大会プログラム

発行日:2011 年 11 月 1 日

発行者:第 13 回日本子ども健康科学会学術大会

会長 松崎くみ子

〒352-8501 埼玉県新座市中野 1-9-6

跡見学園女子大学文学部臨床心理学科松崎研究室内

第 13 回日本子ども健康科学会準備委員会

FAX 048-478-3475

e-mail: info@jshsc.jp